

日本介護医療院協会セミナー

介護医療院の現在と未来、好事例の紹介

- ◆日 時：10月20日（金） 13:00 ～ 14:10
- ◆座 長：鈴木 龍太 日本介護医療院協会 会長
- ◆演 者：鈴木 龍太 医療法人社団三喜会 理事長／鶴巻温泉病院 院長
猿原 大和 介護医療院湖東病院 理事長

日本介護医療院協会セミナー 略歴

座長・演者

鈴木 龍太 (すずき りゅうた)

日本介護医療院協会 会長

医療法人社団三喜会 理事長／鶴巻温泉病院 院長

略歴

学歴・職歴

1977年3月	東京医科歯科大学医学部卒業
1977年4月	東京医科歯科大学脳神経外科 研修医 入局
1980年1月	米国 National Institutes of Health (NIH) NINCDS Visiting fellow
1995年4月	昭和大学藤が丘病院脳神経外科 助教授 (准教授)
2009年9月	医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 院長
2015年6月	医療法人社団 三喜会 理事長兼務
現在に至る	

学会・資格等

学位 医学博士 東京医科歯科大学第09号 (1984年10月17日)

1983年7月	社団法人日本脳神経外科学会 専門医
2007年3月	日本リハビリテーション学会 専門医 指導医
2011年6月	日本慢性期医療協会 理事
2012年6月	日本リハビリテーション病院・施設協会理事
2014年6月	神奈川県慢性期医療協会 会長
2018年6月	日本慢性期医療協会 常任理事
2018年8月	日本介護医療院協会 会長
2019年4月 - 2023年3月	湘南西部病院協会 会長
2019年6月	神奈川県病院協会 常任理事

演 者

猿原 大和 (さるはら ひろかず)

医療法人社団和恵会理事長
介護医療院湖東病院 理事長

■ 略歴 ■

職歴

2002年3月	東京医科大学卒業
2002年5月	東京医科大学研修医
2003年4月	東京医科大学第2内科(循環器内科)入局
2004年4月	東京都老人医療センター(東京都健康長寿医療センター)循環器科
2007年4月	東京医科大学循環器内科研究医
2010年4月	医療法人社団和恵会湖東病院
2015年7月	湖東病院院長
2018年4月	医療法人社団和恵会理事長

学歴

2012年	医学博士号取得 Obstructive sleep apnea as a potential risk factor for aortic disease
-------	--

専門資格

日本循環器専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会認定内科医
在宅医療認定医
日本医師会産業医
認知症サポート医

日本介護医療院協会セミナー

介護医療院の現在と未来、好事例の紹介 主旨

日本介護医療院協会 会長
鈴木 龍太

介護医療院は介護療養病床の廃止による入院患者の受け皿として2018年に創設されて以来、2023年3月末には764施設、45220床となっている。2022年度末には介護療養病床は約6000床、医療療養経過措置は約2500床残っていると考えられるが、廃止まではカウントダウンの状況に入った。日本介護医療院協会は毎年アンケート調査を行い、介護医療院の現状と課題の把握をしている。例年介護医療院は総合的に良かったと回答する施設が70%前後あり、介護医療院の創設は概ね成功していると考えている。最近では介護医療院は、「病院と介護施設の狭間にある、どちらも受けにくい方の最後の砦になっている。」との意見を聞くことが多く、地域包括ケアシステム、地域医療構想に貢献しているものと自負している。

今回のセミナーでは2023年度の日本介護医療院協会調査の結果を踏まえて、現状と課題、そして、2024年の介護報酬改定の方角性を論ずる。また好事例として湖東病院から「病院併設でない独立型介護医療院の課題と工夫」を発表していただく。

日本介護医療院協会セミナー

介護医療院の現在と未来 日本介護医療院協会調査結果から

医療法人社団三喜会 理事長／鶴巻温泉病院 院長

鈴木 龍太

日本介護医療院協会は毎年アンケート調査を行い、介護医療院の現状と課題の把握をしている。
今回のアンケート調査では医療行為が算定の可。不可で実施に差があるか？
外国人介護職の雇用はどうか？経営の状況等、新しく追加した項目もある。
今回の結果を踏まえて、介護医療院の現状と課題、そして、2024年の介護報酬改定の方向性を論ずる。

日本介護医療院協会セミナー

病院併設でない独立型介護医療院の工夫と課題

介護医療院湖東病院 理事長
猿原 大和

日本は多死社会を迎え、終末期を何処でどのように迎えるか、急増する高齢者救急にどう対応するかが社会問題になっている。介護医療院は、「日常的な医学管理が必要な重介護者の受け入れ」や「看取り・ターミナルケア」等の機能に、「生活施設」としての機能を兼ね備えた介護保険施設であり、介護医療院の活躍なくして日本の慢性期医療は成り立たない。

人口約79万人(高齢化率 28.5%)の静岡県浜松市にある医療法人社団和恵会湖東病院・湖東ケアセンターは、229床の療養ベッド有する介護医療院である。湖東ケアセンター 60床は、2018年9月に療養型(転換)老健よりI型介護医療院に移行、湖東病院169床は、介護療養病床より2020年4月にI型介護医療院へ移行した。同敷地内にあり、どちらも病院併設でない独立型介護医療院である。しかし、介護医療院ながら医療の提供には力を入れている。要介護者に多い誤嚥性肺炎や尿路感染症のたびに、転院させることやベッドを移動させることはしない。その方のお部屋で治療を行う。また、救急搬送になる者も少なく、2022年度は9件のみであった。これは、周辺の救急病院の負担軽減になっている。

高齢者救急にも可能な限り対応している。高齢者救急の約4割が軽症とされ、入院治療の必要性なしとされるが、自宅療養が困難になるケースが多い。近隣の開業医師らからも救急搬送するほどではないが自宅には帰せない高齢者などの相談が多く、連携して緊急入所対応するようになった。COVID-19の影響で緊急入所件数も減ってしまったが、2022年度も18件ほど緊急で入所対応している。

しかし、課題もある。介護保険施設では、検査・治療のほとんどが要介護度に包括した介護報酬になってしまうことだ。特に、緊急入所の場合は、通常の介護のほか、点滴や抗生剤の静注、褥瘡処置など医療資源の投入が必要で、施設負担が多いにも関わらず、要介護度が低い例が多い。地域の超高齢化に対応すべく努力しているが、苦勞だけが長く報われない。医療、介護がともに取り組まないと急増する高齢者救急には対応できないので、せめて在宅からの治療目的の入所だけでも加算が付くような大きな改定が必要と考えている。